

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-1

4-Ⅱ-1

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	解説パネル等の整備
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	1 解説パネル等の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	県文化課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説パネル等の整備を通じて、来訪者に各構成資産の価値の理解促進を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最近の調査研究に基づく解説パネルや見学マップ等、ガイダンスに必要となる基本的な説明媒体の整備を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 来訪者受入の拠点施設となるガイダンス施設(きらりうむ佐渡)の整備は令和2年度に完了した。旧西三川小学校笹川分校のサテライトガイダンス施設としての運用を開始する。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2年3月に策定した「史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画」において、遺跡案内表示の整備に関する方針を定めた。 ○ 上記方針に基づき、解説・歩行者誘導・注意喚起等のサイン計画を定め、計画的なサイン設置を進めた。 ○ 令和4年度には、インバウンド対策のため、笹川集落内及び旧西三川小学校笹川分校内の既設解説サインにQRコードを設置した。 		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インバウンド対策のため、金子勘三郎家主屋内に設置されている解説サインにQRコードを設置する。 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 金子勘三郎家主屋内の既設解説サインに英訳用QRコードを設置した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ガイダンス施設として整備した「きらりうむ佐渡」及び「旧西三川小学校笹川分校」を効果的に運用・活用していく必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 引き続き、ガイダンス施設での効果的な情報提供や地域との連携を強化していくため、関係機関・民間団体等との打合せや協議を行う。 ■ サテライトガイダンス施設として、西三川地区の金子勘三郎家住宅及び相川地区の旧深見家住宅の整備を計画的に進める。 ■ 旧西三川小学校笹川分校の運用・活用について、地域や関連民間団体と協議を行い、令和6年度からの運用開始に向け調整を進める。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成度】 ◇ 計画どおりに進められたことからB評価とした。</p> <p>[A (B) ・ C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。